

常務理事会

(第57事業年度・第2回

2022年5月19日常務理事会)

主な議事内容は次のとおりです。

I 審議事項

1. 公共調達に在り方に関するプロジェクトチームからの報告「日本版ゲートウェイレビューの導入における実務上の課題と方向性」に関する件

日本における公共調達に関する諸課題を解決する施策の一つとして、英国を参考に「日本版ゲートウェイレビュー」の導入を提案するとともに、日本において試行するに当たって検討すべき課題と方向性の整理を行い、「日本版ゲートウェイレビューの導入における実務上の課題と方向性」として取りまとめた旨の提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

2. 倫理委員会からの答申『国際会計士倫理基準審議会（IESBA）公開草案「業務チームの定義及びグループ監査に関するIESBA倫理規程改訂案」に対するコメント』に関する件

国際会計士倫理基準審議会（IESBA）から2022年2月28日に公表された、公開草案「業務チームの定義及びグループ監査に関するIESBA倫理規程改訂案」に対する協会コメントを取りまとめた旨の提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

3. 倫理委員会からの意見具申「倫理宣言」に関する件

本年7月定期総会で改正を予定している倫理規則の根幹となる基本原則を中心に、会員及び準会員が職業倫理の実践に努めることを改めて自覚し、自ら意思表明を行うため、新たに倫理宣言を作成し周知する旨の提案があり、審議の結果、本年の定期総会での審議

事項「倫理規則の一部変更」の承認を前提とした上で、提案どおり承認された。

4. 品質管理委員会からの意見具申「品質管理レビュー手続の一部変更」に関する件

2021年度の品質管理レビューの実施の状況と結果を踏まえ、改善状況の確認の手続の明確化の手当を目的として、品質管理レビュー手続を一部変更する旨提案があり、審議の結果、翌日の理事会での審議事項「品質管理レビュー基準の一部変更」の承認を前提とした上で、提案どおり承認された。

5. 会計制度委員会からの答申『企業会計基準公開草案第71号（企業会計基準第27号の改正案）「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準（案）」等に対する意見』に関する件

企業会計基準委員会（ASBJ）から2022年3月30日に公表された、企業会計基準公開草案第71号（企業会計基準第27号の改正案）「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準（案）」等に対する協会意見を取りまとめた旨の提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

II 報告事項

1. 農業信用基金協会の監査契約書及び監査約款の様式の更新に関する件

監査基準委員会報告書720「その他の記載内容に関連する監査人の責任」の改正等に対応するため、法規・制度委員会研究報告第1号「監査及びレビュー等の契約書の作成例」の2021年4月30日改正を受け、農業信用基金協会の監査契約書及び監査約款の様式を更新する旨の報告があった。

2. 金融審議会「ディスクロージャーワーキング・グループ(令和3年度)」に関する件

2022年4月18日に開催された、金融庁

金融審議会「ディスクロージャーワーキング・グループ(令和3年度)」における情報開示の頻度・タイミング等の議論の状況について報告があった。

このほかの主な審議事項は次のとおりです。

○租税調査会からの答申『租税調査会研究報告「不動産をめぐる課税上の論点整理」』に関する件

○業種別委員会からの意見具申『業種別委員会実務指針第35号「農業信用保証保険法による農業信用基金協会の監査に当たっての監査上の取扱い及び監査報告書の文例」の改正について』及び「公開草案に対するコメントの概要及び対応」に関する件

○会計制度委員会からの答申『実務対応報告公開草案第63号「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い（案）」に対する意見』に関する件

○会計制度委員会からの答申『「資金決済法上の暗号資産又は金融商品取引法上の電子記録移転権利に該当するICOトークンの発行及び保有に係る会計処理に関する論点の整理」に対する意見』に関する件

○公会計委員会からの答申『「「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針」の一部改訂について」及び「公開草案に対するコメントの概要及び対応」』に関する件

○公会計委員会からの答申『公会計委員会実務指針第6号「国立大学法人等の財務諸表に関する監査上の取扱い及び監査報告書の文例」の改正について』に関する件

る件

- 公会計委員会からの答申『「公会計委員会実務指針第2号「独立行政法人監査における法規準拠性」の改正について」及び「公開草案に対するコメントの概要及び対応」』に関する件
- 公会計委員会からの答申『「公会計委員会実務指針第3号「独立行政法人監査における経済性・効率性等」の改正について」及び「公開草案に対するコメントの概要及び対応」』に関する件
- 公会計委員会からの答申『IFAC-国際公会計基準審議会（IPSASB）公開草案第81号『概念フレームワークの改訂：第3章「質的特性」及び第5章「財務諸表における構成要素」』に対するコメント』に関する件

理事会

（第57事業年度・第2回

2022年5月20日理事会）

主な議事内容は次のとおりです。

I 会長報告

手塚会長から、以下の項目について会則第165条に基づく報告があり協議を行った。

- ①会長動静
- ②公認会計士法改正の状況
- ③2022年4月4日及び5日に開催したJICPAオンラインカンファレンス2022
- ④地域会定期総会のスケジュール

II 審議事項

- 1. 品質管理委員会からの意見具申「品質管理レビュー基準の一部変更」に関する件

2021年度の品質管理レビューの実施状況と結果を踏まえ、監査事務所との情報のやりとりの電子化の手当てを目的として、品質管理レビュー基準を一部変更する旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

- 2. 専務理事からの意見具申「個人情報保護方針の一部変更」に関する件

個人情報保護法の改正に伴い、本会の個人情報保護の基本方針である「個人情報保護方針」を一部変更する旨の提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

- 3. 総務委員会からの意見具申『監査基準委員会の所掌事項の見直しに係る会則等の一部変更及び品質管理基準委員会運営細則の廃止』に関する件

2022年2月18日の理事会において、監査基準・品質管理基準担当専務理事より、財務諸表の監査及びレビュー業務、保証業務並びに合意された手続業務に関連する公表物の体系及び起草方針の見直しに伴い、品質管理基準委員会、監査基準委員会及び監査・保証実務委員会の所掌事項を見直す旨提案があり、承認された。これを受けて、監査基準委員会の所掌事項の見直しに係る会則等の一部変更及び品質管理基準委員会運営細則を廃止する旨の提案があり、審議の結果、提案どおり承認し、今次定期総会に提案することとした。

このほかの主な審議及び報告事項は次のとおりです。

- 第56事業年度事業及び会務に関する報告に関する件
- 「第56事業年度科目間の流用及び予備費の使用について」に関する件

- 第56回定期総会提出議案に関する件
- 総務委員会からの意見具申「会費規則及び法定監査関係書類等提出細則の一部変更」に関する件
- 総務委員会からの意見具申「日本公認会計士協会シンボルマーク取扱細則の一部変更」に関する件
- 世界会計士会議ムンバイ大会の開催に関する件
- 会館等の施設のリニューアルに関する件

以上

（会務運営戦略本部長 千葉正起）